

海外安全対策情報（2014年1月～3月分）

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

当地では社会・治安情勢は比較的安定しているものの、政府に対する抗議活動や民族主義団体等による集会・デモは頻繁に発生している他、治安当局による集会・デモ参加者への拘束事案も発生しており注意を要する。

特に現在はウクライナ情勢を巡ってロシア政府の立場に賛意を示すデモ及びこれに反対するデモが開催されており、治安当局と衝突するなどしており注意を要する。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家統計庁が発表した2014年1月から2月におけるサンクトペテルブルク市及びレニングラード州の犯罪発生件数は8,994件、前年同期比105.4%となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人（未遂を含む）	51件（前年同期比 91.1%）
重傷傷害	85件（ 85.9%）
強姦	13件（230.0%）
強盗（武器使用）	104件（ 77.6%）
強盗（武器未使用）	491件（ 86.4%）
窃盗	3,280件（113.7%）
詐欺	439件（ 78.1%）
薬物不法取引	2,273件（230.0%）

当地における邦人窃盗被害の多くはスリであり、バスや地下鉄利用時や観光スポット周辺において狙われることが多いことから、公共交通機関の利用を避けたり、観光スポット周辺では身の回りに注意する等の防衛策が必要となる。

又、パスポートの盗難被害に遭う邦人が多いため、パスポートは財布等と分けて保管したり、不要の際はパスポートのコピーを携帯する（当地においては賄賂目的以外

で当局からパスポートの提示を求められることは希である）等、パスポートの紛失・盗難に心がける必要がある。

（２）邦人被害事案

ア ２月中旬、在留邦人が車両を運転中、キーロチナヤ通り（当館から東方約２．５キロメートル）で信号待ちのため停車したところ、隣接した旧式の車（LADA社製）から男１名（３０歳～３５歳くらい、酒臭が強い）が降りてきて、被害者の運転席のドアを開けてナイフを取り出し、ロシア語で金銭を要求してきた。

被害者は、車を急発進し、犯人を振り払ったため被害は無かった。

イ ２月中旬、在留邦人がエルミタージュ美術館内を散策中、いつのまにか肩掛けバックが開けられ、中から旅券（パスポートカバー有り）が盗まれていた。

ウ ３月初旬、在留邦人がカザン聖堂からマリンスキー劇場に向かってバスに乗車中、中央アジア系の３人組に肩掛けカバンを触られた。慌てて車内を移動したところ、次の停留所３人組は降車した。その後、カバンを確認したところ財布（現金１万円、１４５００ルーブル、クレジットカード１枚等在中）が無くなっていた。事件から２時間後にカード会社に連絡したところ、市内のレストランで２３万円相当が不正利用されていた。

エ ３月初旬、旅行者がネフスキー大通り沿いの地下道入り口付近を散策中、ロシア人男性がリーフレットを広げて「プレゼント、プレゼント」といいながら近づいてきた。旅行者は迷惑に思い、繰り返し断ったところ、ロシア人男性は立ち去った。

その後、貴重品を確認したところ、左ポケットに入れてあったポーチ（旅券、現金３００ドル、４万円、Ｅチケット等在中）が盗まれていた。

オ ３月初旬、旅行者が市内レストランにて夕食中、足下に置いていたカバンのチャックを何者かに開けられ、中から財布（現金５００ユーロ、７００ルーブル、２万円、クレジットカード２枚、クレジット機能付きキャッシュカード１枚等在中）が無くなっていた。後日、クレジットカードが約４０００ルーブル相当が不正使用されていた。

カ ３月中旬、留学生がカザン聖堂付近を散歩中、ロシア人がカレンダー等売りつ

けてきた。そのうちに腕をつかまれ、「店に行こう。」と誘われたが、被害者が腕を振り払ったところ、別の者が、被害者が背負っていたリックサックのチャックを開け、中からデジタルカメラ及びカメラレンズ（時価合計約13万円）をひったくり、逃走した

キ 3月下旬、留学生がワシーリ島にてバスに乗車したところ、何者かに肩掛けにしていたバックから財布（現金1000ルーブル、クレジットカード1枚在中）を盗まれた。なお、バス車両内は比較的混雑していた。

（3）邦人以外の被害事案

ア 殺人・殺人未遂

（ア）1月中旬、市内フルンゼンスキー区の路上にて、運転方法を巡って男性2名が口論となり、一方の男が相手の頭部に向け外傷性けん銃を発砲した。被害者は病院に搬送された。被疑者は後刻、逮捕された。

（イ）1月中旬、市内ワシーリ島のスーパー『レンタ』の駐車場にて、30歳の男と27歳の男が口論となり、30歳男が相手の腹部に向け外傷性けん銃を発砲した。被害者は病院に搬送された。被疑者は駆けつけた警察官によって逮捕された。

（ウ）1月中旬、市内モスコフスキー区のレストランにて、店員とアゼルバイジャン国籍の客が口論となり、客が店員にけん銃を発砲し逃走した。被疑者は後日、逮捕された。

（エ）1月下旬、レニングラード州ガチンスキー地区の民家にて、87歳の女性と、知人である51歳の無職男性が口論となり、男性が女性の頭部を斧で殴打した。女性は重体で病院に搬送された。被疑者は逮捕された。

（オ）2月上旬、市内地下鉄「ディベンコ通り」駅付近において、ウズベキスタン国籍の男性が何者かに腹部及び大腿部を刃物で数回刺され病院に搬送された。犯人は逃走した。

（カ）2月中旬、市内フルンゼンスキー区の路上にて、モルドバ国籍の男性が複数の者から胸部及び腹部を刃物で刺され、病院に搬送された。犯人は逃走した。

（キ）2月中旬、市内沿海区のアパートの中庭にて、内務総局大学校の生徒（19歳）

が、何者かに射殺された。犯人は逃走した。

- (ク) 3月上旬、市内ヴィボルグスキー区の大型スーパーにて、他の客に迷惑をかけていた酩酊状態の男を警備員が排除しようとした際、男がけん銃を取り出し警備員に向けて発砲した。被疑者は逮捕された。
- (ケ) 3月下旬、市内クラスノセルスキー区の民家にて、51歳の男性と37歳の知人女性が口論となり、男性が刃物で女性を殺害した。被疑者は逮捕された。

イ 強盗

- (ア) 1月下旬、市内カリーニンスキー区の路上にて、3人組の強盗が3人組の女性をけん銃様の武器で脅し、現金合計11万ルーブル及び携帯電話を奪い逃走した。
- (イ) 1月下旬、市内カリーニンスキー区の模型店に、強盗が押し入り、刃物で店員を脅して店内からエアガン及び弾丸等を奪い逃走した。被疑者は通報を受けて駆けつけた警察官によって逮捕された。
- (ウ) 1月下旬、市内クラスノグヴァールジェイスキー区の売店にて、2人組の強盗が押し入り、女性店員を脅して現金を要求したが、店員が抵抗したため逃走した。被疑者は後刻、逮捕された。
- (エ) 1月下旬、市内アドミラルチェイスキー区の路上にて、3人組の強盗が、33歳会社員の女性に暴行を加え、現金約72万ルーブル在中のカバンを奪い逃走した。女性は負傷し、病院に搬送された。
- (オ) 3月上旬、市内カリーニンスキー区の路上にて、強盗が29歳の男性を刃物で8回刺し、所持金1000ルーブル、13米ドル、10ユーロを奪い逃走した。
- (カ) 3月上旬、市内クラスノセルスキー区の寿司店に、2人組の強盗が押し入り、けん銃様の物で店員を脅し、レジから35,000ルーブルを奪い逃走した。
- (キ) 3月上旬、市内クラスノグヴァールジェイスキー区の宝石店に、強盗が押し入り、店員を脅して売上金19万ルーブルを奪い逃走した。
- (ク) 3月上旬、市内ペトロドヴォレツォヴヌイ区のアパートにて、3人組の強盗が46歳の会社員男性の部屋に押し入り、けん銃及び刃物で脅し、宝飾品約4万3千ルーブル相当を奪い逃走した。

- (ケ) 3月上旬、市内沿海区のアパートにて、3人組の強盗が、出勤のため自宅から出てきた39歳の会社役員男性の足を刃物で刺し、携帯電話、自宅及び車の鍵を奪い逃走した。
- (コ) 3月中旬、市内クラスノセルスキー区の花屋に強盗が押し入り、女性店員に暴行を加え、売上金から6000ルーブル及び店内の花40本を奪い逃走した。
- (サ) 3月中旬、市内キーロフスキー区のアパートの玄関口付近で、2人組の強盗が、モンテネグロ国籍の54歳男性の顔面に噴霧器を噴射し、暴行を加え、2万ルーブル、500ユーロ及び旅券を奪い逃走した。
- (シ) 3月中旬、市内キーロフスキー区の携帯電話ショップに、覆面した強盗が押し入り、店員をけん銃で脅し、レジから約3万ルーブルを奪い逃走した。
- (ス) 3月中旬、市内キーロフスキー区の民家に、3人の強盗が花の宅配を装って押し入り、けん銃で家人を脅し、現金20万ルーブル、宝飾品、携帯電話等を奪い逃走した。

ウ 強姦

- (ア) 2月下旬、市内クラスノグヴァールジェイスキー区の路上にて、34歳の男が23歳の女性を暴行し、フォークで脅しながら強姦した。被疑者は後日、逮捕された。
- (イ) 3月上旬、市内ネフスキー区のアパート玄関口付近にて、24歳のウズベキスタン人が31歳の女性を強姦し、携帯電話を奪い逃走した。犯人は、被害者の通報を受けて臨場した警察官によって逮捕された。
- (ウ) 3月下旬、地下鉄「プローシャチ・ヴァスターニヤ」駅付近で18歳の女性が強姦された。被疑者は重傷を負い、病院で手当を受けた。
- (エ) 3月下旬、市内ワシーリ島のアパート付近にて、27歳の女性が何者かに強姦された。犯人は逃走した。

3 テロ・爆発事件発生状況

- (1) 3月上旬、市内ワシーリ島の大型スーパー『レンタ』に、「爆弾を仕掛けた」旨の

電話があった。警察は来客を避難させ店内を検索するも不審物の発見には至らなかった。

(2) 3月上旬、地下鉄「ネフスキー大通り」駅を爆破する旨の電話が警察にあった。後刻、49歳の無職女性が虚偽の通報で逮捕された。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。